

2019年度第1回理事会議事録

- 1 開催日時 2019年2月11日(火)19時～19時30分
- 2 開催場所 藤沢市役所本庁舎 5階 市民利用会議室第2
- 3 出席者 広瀬稔、青木明彦、小池健一、平野まり、指旗博、大久保麻子、乙山新子、高橋博、千葉智之、林晋也、村上毅、持丸昌己、八尾健史、薬師寺一彦、凶師信彦、野本剛志、山根将樹、堀内彰、岩見亮、船生昌延、宮坂孝範、山出峰士、前田竜平、横井健、後藤和之、藤澤直広、藤肥勉、室町純也、大館貞好、山崎雄二
30名(順不同、敬称略)
- 4 配布資料
 - (1) 2019年度第1回理事会次第等
- 5 議事等
進行(青木理事長)
出席及び委任状により過半数以上の定数に達し、理事会成立を確認。
 - (1) 第4回理事会議事録の確認(青木理事長より)
事前にホームページに掲載済みであり、特に意見もなかったのので了承されたものとする。
 - (2) 事業報告
 - ア 競技部会(八尾部会長より)
 - ・配布資料に記載の通り9種類、11の大会を開催した。
 - イ 行事部会(小池部会長より)
 - ・配布資料に記載の5つの行事を実施した。
 - ウ 指導部会(平野部会長より)
 - ・配布資料に記載の13項目に関して実施した。
 - エ 総務部会(指旗部会長より)
 - ・配布資料に記載の11項目について実施した。
 - ・2/24の総会に向けて決算書を作成中。2018年度の決算から剰余金については、収入と支出に分けて計上するように変更する。協会事業については、ある程度の収入がないと実施できない。剰余金は単なる余りではないため。
 - (3) 2019年度の事業(青木理事長より)
2019年度テニスカレンダーは昨年から大きな変更はなく、確定した日程について説明。
松本市交流戦が11/9,10に開催、今回は松本市へ出向く順番。
 - (4) その他(広瀬会長より)
 - ・今年度は役員改選の年である。会長・副会長は総会で選出される。理事長・副理事長・常任理事の再任が理事会で承認された。男女のバランスをとるため新たに女性の常任理事を1名追加する。選出は会長へ一任する。
 - ・神奈川県テニス選手権の仮ドローが発表された。男子70歳以上がリドローされているので、ご注意ください。2月23日から1週間行われる。今回は、茅ヶ崎市、横須賀市、小田原市のコートを使用する。

- ・都市対抗神奈川県予選が4月6日、7日に相模原市淵野辺コートを使い開催される。申込締切は3月3日となっている。昨年の全国大会の実績で、神奈川県予選を勝ち上がった場合、鹿児島県で開催の全国大会へストレートで出場できる。
- ・2月3日に神奈川県テニス協会の委員長会議があり、2018年事業は全て無事終了した。2019年事業も昨年同様な内容で開催が確認された。
- ・県の大会では、大会やイベント時において、事故等が起きた場合、現場において状況を確認して、的確な判断を下し、早急な応急措置を行うと共に、関係機関等に連絡を行うため、行事・ベテラン委員会の大会を担当するトーナメント運営委員会において作成した。是非、本協会でも参考としていただき、施設との打合せ等の際、活用して欲しい。
- ・横浜市では、無断キャンセルがされた場合、ペナルティとして次回から使用が出来なくなる。藤沢のコートにおいても同様に、キャンセルする場合は、注意してもらいたい。
- ・日本テニス協会の情報として、2019年度から賞金配分規定の変更があり、昨年までは初戦敗退でも賞金が出ていたが、今年から勝ち上がらないと賞金がもらえなくなった。また、ジュニアJ P I Nの運用について、昨年1月から登録受け付けが開始し、今年から全国大会につながる県予選から出場選手にジュニアJ P I Nの保持が義務づけられたので、ジュニアの選手がいるクラブ、スクールなどでは注意していただきたい。
- ・関東テニス協会からの情報として、ITFシニア大会について、2019年度から国内開催の規程がJ T Aで制定されたことを受けて、2020年の開催を目指し、関東テニス協会内に準備委員会が設立される。このことにより、海外に行かなくても、関東近辺で国際大会が開催され、ベテランJ O Pが10倍となる大会へ出場できることになる。

以上